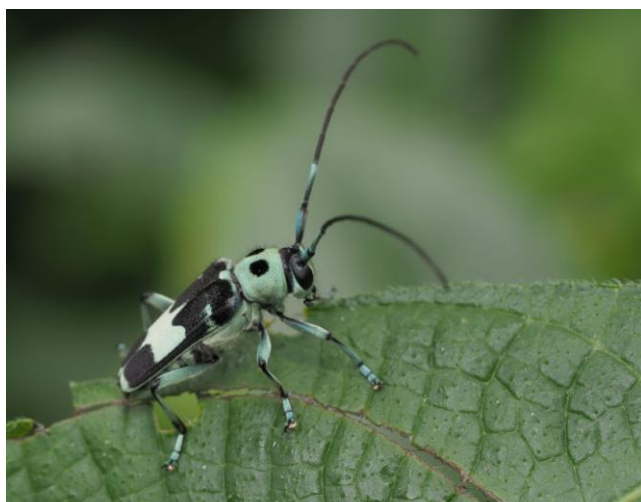




ゴロスケ報々



ラミーカミキリ 初夏、カラムシの葉に見られます。

写真：KFC・ハンミョウの会 石川

●2022年度 安全管理講習会●

2022年度の安全管理講習会は、横浜自然観察の森において最近発生した土砂崩れのような自然災害への対応や対策の状況について理解するため、以下のタイトルと内容で実施します。友の会の会員はどなたでもご参加いただけます。特に各プロジェクトからは、リーダーだけでなく多くのご参加をお願いします。

1. タイトル 「横浜の緑地における自然災害、その状況と対策」
— 横浜自然観察の森ならびに円海山緑地の状況を踏まえて —
2. 内容 (1) 横浜市の緑地における自然災害の発生と防災・対策の状況
(2) 横浜自然観察の森や円海山緑地での崩落等の災害事例
(3) 質疑
3. 講師 横浜市環境創造局の職員
・みどりアップ推進課、・南部公園緑地事務所
4. 日程 2022年7月24日(日) 10:00~12:00 (講義1時間30分、質疑30分)
5. 開催形式 原則としてオンラインでご参加ください。
(会場参加の可否は7月上旬に感染状況等を考慮して判断します。ご希望の方はお申し込み時にその旨を記載ください。)
6. 参加登録 友の会イベント申し込み用アドレスへ entry@ynstomo.org
締め切り 7月17日(日)

安全管理担当 中塚

友の会目標

友の会は、横浜自然観察の森を中心として、身近な自然とふれあい、自然を愛し、自然に学び、自然を守り、育て、自然を愛する人々を育てようということを目的としています。

●5月定例会報告●

日時 2022年5月15日(日) 9:15~10:35 オンライン併用

出席者 青木(司会)、井川、今村、大浦、大西、落合、篠原、関根(書記)、高橋、中里、西山、星隈、村松、山口、渡部、中塚、観察センター尾崎R、掛下R

1 友の会の4月から5月までの行事・活動報告をしました。

4月の「森を守るボランティア体験」がオンラインで実施され、1組4名の参加がありました。(ハンミョウの会担当、入会なし)

PJ行事では、「季節の森を歩こう」(ハンミョウの会)が4月オンラインで、5月は久しぶりに対面で実施されました。鳥のくらし発見隊の「みんなでバードウォッチング」が4月、5月実施されました。

2 8月までの友の会行事・活動予定を確認しました。

実施予定の行事

「森を守るボランティア体験」観察センター共催 雑木林ファンクラブ担当

「季節の森を歩こう」「みんなでバードウォッチング」「野草保護の助っ人」(一般対象)、「定点カメラで動物調査」(会員対象)が予定されています。最終ページの行事スケジュール、ブログ等で確認の上ご参加ください。予定している行事もコロナ感染状況により中止になることもあります。

3 その他

10月に予定されていた「秋の森まるごと体験」はPJの活動が通常のかたちに戻っていないことなどから、中止と決定しました。

4 センターより センター便りのページをご覧ください。

<次回の定例会>

7月17日(日) 9:15~を予定しています。(オンライン併用を予定しています)

★定例会は会員どなたでも出席できます。オンライン併用ですとご自宅から参加出来ます。

●5月理事会報告●

日時 2022年5月15日(日) 10:45~11:20

出席者 青木、今村、大浦、大西、落合、関根、中里、中塚、西山、星隈、村松、山口、尾崎R
(欠席：秋元、漆原)(COVID-19感染拡大防止のため原則オンライン参加)

1 役員・担当理事互選(総会資料により確認済)

・会長	: 山口	・副会長	: 大浦(定例会司会)、落合
・会計	: 青木(定例会司会)	・事務局長	: 中里
・編集・広報	: 今村	・編集サポート	: 中里、秋元
・会員交流行事	: 大西	・会員名簿管理	: 漆原
・ネットワーク	: 秋元	・書記統括・ホーム・ページ	: 関根
		・安全管理	: 中塚

2 年間スケジュール(総会資料により確認済。次年度総会追加)

11月20日 中間報告・次年度方針、1月15日 次年度事業計画、3月19日 総会準備ほか、
4月8日 総会(第2土曜へ変更)

3 利用推進会議(前期)

7月2日(土) 13:00~(オンラインの場合は13:30~) 事業報告、つながりの森マナー進捗状況について確認

4 安全管理(危険情報報告等)

・安全管理講習会 7月24日(日) 10:00~12:00(本号1ページ掲載記事参照)

5 その他

更新会員数が前年度比で10名減少の報告があり、定例会で案内した各PJ等名簿突合による更新忘れ等の確認及びコロナ収束後の情報発信の必要性について確認しました。

<次回理事会>

日時 11月20日(日) 11:00~(定例会終了次第、早めに開始)

場所 自然観察センター研修室(オンライン併用)

議題 中間報告、次年度方針ほか

以上

航空機と渡り鳥の不思議

横浜市自然観察の森、友の会ZFC「雑木林ファンクラブ」大西と申します。ビギナーながら「ゴロ報」通信の寄稿を拝命しましたこと深く感謝申し上げます。私事43年間航空会社に勤務し、退職後早5年が過ぎ、69歳を迎えることとなりました。当クラブに加入させていただき6年目を迎えることとなります。

本題に入りますが、

①古くは航空機もヨーロッパ路線を飛行する際、アンカレッジ経由等、星を確認しながら飛行する「天測航法」という方法で飛行しておりました。乗務に際し操縦士と併せて航法士が乗務しており、星の位置を測定しながら飛行する方法です。ダグラス DC8 の時代です。

②次に、航空機をラジオと考えていただき最低2地点の無線局からの電波を受けて自分の位置を確認しながら飛行する「電波航法」という飛行方式で飛行しておりました。ボーイング727の時代です。

③これは少し分かりにくいかもしれませんが、こまを回すとまっすぐに立とうとしながら回るジャイロという仕組みを利用し、操縦室に INS と呼ばれる3台の同じ機器を搭載し、近似値を取って飛行する仕組みを「慣性航法」と呼んでおり、ボーイング747の当初まで、この航法で飛行しておりました。

④いよいよ皆様馴染み深いGPSの登場です。人工衛星から電波を受け、北緯・南緯何度、東・西経何度、と航空機の目的地までの経路情報を連続して入力することにより、自動で辿って飛行することができます。自動車の自動運転装置をイメージしていただけたら理解しやすいと思います。現在はほぼ全てこの「GPS航法」で飛行しております。

私も20代の頃、将来はこの飛行方式になると習いましたが、当時はなかなかイメージができませんでした。

なぜ長々こんなとりとめのないことをお伝えしたかと申しますと、渡り鳥や魚は太古の昔から帰巢本能を有し、何千キロもの移動を繰り返し営んでおります。ロケットで宇宙旅行が可能になった時代ですが、生き物はおそらく物理的な理屈ではなく本能や香りで認知できているのでしょうか、どなたかご教授頂けましたら幸いです。

とりとめのないことを書きましたが、改めまして今後共宜しくお願い申し上げます。

ご拝読ありがとうございました。

大西 誠治

●友の会プロジェクト紹介（定点カメラで動物調査）●

毎年5～11月の第2土曜日午前中に3～4人のメンバーで活動しています。奇数月は森の中のけもの道3か所に赤外線センサーカメラを設置し、偶数月はカメラを回収、そして毎月の活動日にセンターで写真のチェックを行っています。

2020年度から、フラッシュを焚かないタイプのカメラのみを設置していて、夜は白黒写真、かつシャッター速度が遅いためぶれる写真が多く、動物の同定はなかなか難しいですが、よく見ていると段々と何の動物が分かってくることも多いです。たくさんの目で見る必要があります。

2021年度は、2020年度に続いてノウサギは写らず、でも8年ぶりにイタチが写ったりしました。森にはどんな動物がいるのか、増えているのか減っているのか等、ご興味ある方、一緒に調べませんか。お待ちしております。

定点カメラで動物調査 渡部

昨年同時期の友の会ブログ記事を再掲載して、この季節の森情報を紹介するコーナーです。

森の自然情報 ブログより

今回は、2021年6月25日付け「鳥のくらし発見隊」さんのブログです。春から初夏にかけて小鳥たちは子育てに忙しい時期で、森では多くの幼鳥にも出会えるようです。今春、ようやく、いくつかのプロジェクトで対面の活動を再開することが出来ました。編集担当

夏至を迎え、本格的な暑さが到来します。でも一歩森に入れば人工の風にはない、心地よい涼しい風が迎えてくれます。足取りも重い街なかを離れ、鳥たちの声を聞きながらゆったりと森を歩きます。



桜林の道の上、カワラヒワです。風切羽の鮮やかな黄色が目を引きまします。木の実でしょうか、嘴にまだ食べ残しがついています。



ノギクの広場の松の木、囀っているのはホオジロです。「そんなに大きく口を開けたら顎が外れてしまうよ！」と思わず声をかけてしまいました。



松の木は人気ですね。次はメジロがやって来ました。見つめ合う目と目、いい感じですよ。皆さんにもありましたね、こんな頃が。



コナラの谷へ下りる階段の途中、何か見られている感じがします。目が合っていました。シジュウカラの幼鳥です。じっとこちらを見えています。



コジュケイの子供達。少し離れた茂みの奥から大きな声が聞こえます。「危ないから早くこちらにお出で」と親鳥が呼んでいるんだと思いますが、一向にお構いなしです。

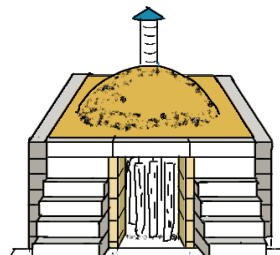
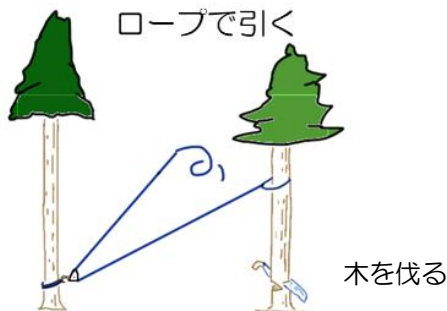
●森を守るボランティア体験(オンライン開催)●

開催日：4月17日(日) 参加者：一般参加1組4名、スタッフ3名
 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ZOOMによるオンライン開催となりました。
 レンジャーによる観察の森の紹介、PJによる友の会の紹介の後、オンラインミニ自然観察会を体験していただきました。一家族だけの参加でしたが、それだけに事細かなご案内ができました。
 担当 森の案内人ハンミョウの会

●森の作業体験(間伐体験)●

開催日：5月28日(土) 10:00~12:00 参加者：3名、スタッフ：6名
 イベント時間が午前中のみと時間も限られているため、7区にて、スタジイ(高さ約6m)を伐倒する体験をしてもらいました。枝払いの後、炭小屋に戻って、コースター作り、竹細工などを体験してもらい、ノコギリや鉋を使う経験をしてもらいました。
 「道具の使い方が難しい。もっとコツを知りたくなった!」「木を切るとき、なぜツルを作るのかが分かりました」「雑木林などの森を維持する大切さが判った」等の感想をいただきました。

担当：雑木林ファンクラブ



炭小屋本窯炭焼き

●ハイド前の環境整備●

友の会行事のお知らせ

ハイド前の草刈りで池の良好な観察環境を保全しましょう。(少雨決行)
 日時：8月28日(日) 9:10 センター前集合
 参加：友の会会員(中学以上)
 持ち物等：汚れても良い服装、飲み物、帽子、軍手、長靴
 担当：カワセミファンクラブ

●「野草保護の助っ人」参加者募集 ●

希少な植物を守る“助っ人”を募集します。希少種の勉強をしながら、外来種や繁茂している草を抜く、どなたでもできる作業です。一緒に作業して下さる方、手を貸して下さる方、日程が合わないけど興味ある方、ご連絡ください!
 (次回は12月です)

日時：7月12日(火) (友の会会員は7月16日(土)も可) 9:30~11:30 各回5名
 (小雨決行、警報が出た場合は7月18日(月)に延期)

申込 / 問合せ：entry@ynstomo.org

(タイトルは「野草保護の助っ人」、お名前、参加希望日を明記)

メールアドレスの無い方は、FAXか電話で自然観察センターに連絡先をお伝えいただければ、折り返しご連絡いたします。

持ち物：軍手、水筒、タオル、あれば長靴

担当：横浜自然観察の森友の会「野草の調査と保護PJ」



自然観察センターだより

2022年6月号

【お知らせ】保安全管理フォローアップの会 ※対面開催

★次回 7月9日(土) 13時~15時

○内容：セイタカアワダチソウの調査と除草 研修室へ集合

昨年、一昨年に引きつづきセイタカアワダチソウの効率的な除去方法を探るための調査を行います。

持ち物：作業のしやすい服装、帽子、飲み物、滑り止めつき軍手、マスク

※資料の準備の都合で、ご出席いただける方は、前日までに掛下か中沢までご連絡ください。

感染症予防や熱中症対策を考慮して、中止する場合があります。

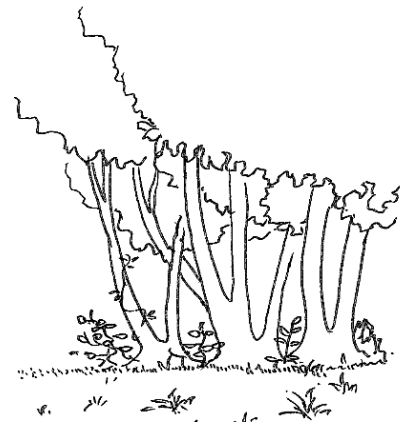
【お知らせ】保安全管理懇談会(前期) ※対面開催

★7月2日(土) 15時~17時 研修室にて

(利用推進会議終了後の開催になります)

園内の環境管理について、横浜市の担当者と年2回、情報共有・意見交換を行っています。今年度の草刈や伐採などの作業、土砂崩れ箇所の見直し、保安全管理計画についてご説明し、意見交換を行います。生きものの暮らしやすい環境づくりや、利用面での管理についてぜひお声をお聞かせください。会員の方はどなたでもご参加いただけます。

◎資料の準備の都合で、ご出席いただける方は、前日までに掛下か中沢までご連絡ください。感染症予防対策のため書面開催とさせていただく場合があります。



【お知らせ】利用推進会議 ※対面開催

★7月2日(土) 13時~15時 研修室にて

観察の森における事業の共有の場として、横浜市みどりアップ推進課、友の会理事、レンジャーとて年2回行っている利用推進会議の今年度1回目を上記日時で開催いたします。この会議では昨年度の報告や今年度の予定を確認します。また、3者間で気づいたことなど、率直に意見交換を行う場です。

なお、この2年間オンライン開催でしたが、今回は対面での開催とします。希望がある場合は、オンラインの併用も行いますが、システムの都合上、音声聞き取りにくいことが想定されます。何卒ご容赦ください。

【お知らせ】環境管理作業の予定6~7月(業者による園内の危険木処理、草刈・刈込)

業者による作業を6~7月に行います。内容は、枝折れや立枯れなどの危険木の剪定と伐採、園路沿いや草地の草刈と枝葉の刈込です。主な作業箇所は、各ネイチャートレイル、長倉口、森の家口、草地広場、テーブルベンチ、車庫付近などです。詳細な日時や場所は友の会のメーリングリストや自然観察の森HPでお知らせいたします。作業に伴い、騒音が発生したり、通行の制限などを行う可能性があります。ご迷惑をお掛けしますが、ご理解の程よろしくお願いたします。また、お気づきのことやご要望があればレンジャーまでご連絡ください。

【お知らせ】ミズキの道6~13番 通行止め

ミズキの道6番~ノギクの広場~13番(コナラの谷)の区間を通行止めにしています。迂回路を整備し、降雨前後を避けて利用可能としていましたが、強雨による土砂流失のため4月22日より再び利用を中止しています。復旧の目途はたっておりません。

通行止め区間を友の会の活動で利用する場合は、事前にレンジャーにご相談ください。

【報告】春のおさんぽラリー

「今年の連休は対面でイベントができるのだろうか…？」感染状況を見極めつつ、なんとかギリギリで対面での実施を決定。そこから先はもう大急ぎで、計画、広報、感染対策・・・気がつけば連休当日でした。今年のタイトルは「タッチーくんで行こう！春の森さんぽ」

さて、なぜイタチがテーマだったのか？そもそもタッチーくんってなに？と思いますよね。タッチーくんとは栄区いたち川の公式キャラクターのことです。その愛らしい姿、一度みたらファンになります。ではなぜイタチを取り上げたのか？



実は今年の1月以降、レンジャー、ボランティアさん、来園者でイタチの目撃頻度が高まったからです。ヘイケボタルの湿地にカエルを採りに来たり、生態園を走り抜けたリ、ミズキの谷にいたり…本物のイタチのこれまた愛らしい姿だったらもう…「写真も動画もとれたし、これは多くの方に知っていただこう！！」ということで、イタチの生態についても理解できるクイズを盛り込んだ内容としました。5日間で合計300人以上の方が参加されました。ご協力、応援いただいた会員の方々、本当にありがとうございました。「秋の森さんぽ」は何をテーマにするか…？皆様のご意見募集中です。

ボランティアさん ありがとう

4月1日
～5月31日



4/1～ カワセミファンクラブのみなさま

／自然情報のご提供・園内の利用状況の情報提供

4/1～ 野草の調査と保護プロジェクトのみなさま／開花情報のご提供

4/1～ 鳥のくらし発見隊のみなさま／野鳥情報のご提供

4/23 上原明子さん／園内情報のご提供

5/2～5 石川裕一さん、山路智恵子さん、高橋睦さん、中里幹久さん、今村修さん

／センター主催行事へのご協力

大浦晴壽さん／イタチの画像のご提供

5/8 鳥のくらし発見隊 山本直彦さん、山本なおみさん／鉛筆のご寄贈

5/15 青木稔さん、井川喜久江さん、大浦晴壽さん、

大西誠治さん、篠原由紀子さん

／ゴロスケ館の清掃

横浜自然観察の森 自然観察センター（月曜休館・祝日の場合はその翌日）

〒247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1

TEL:045-894-7474/FAX:045-894-8892

E-mail:yokohama-nc@wbsj.org

<https://www.wbsj.org/sanctuary/yokohama/>

指定管理者：



行事スケジュール 6月～8月

■：センター行事
●：友の会行事
★：共催行事

●友の会 季節行事●(一般参加者募集)

●「野草保護の助っ人」参加者募集

希少な植物を守る“助っ人”を募集します。希少種の勉強をしながら、外来種や繁茂している草を抜く、どなたでもできる作業です。

詳細は5ページ参照

日時：7/12(火)(友の会会員は7/16(土)も可)
9:30～11:30 各回5名

(小雨決行、警報が出た場合は7/18に延期)

申込 / 問合せ：entry@ynstomo.org

(タイトルは「野草保護の助っ人」、お名前、参加希望日を明記)

メールアドレスの無い方は、FAXか電話で自然観察センターに連絡先をお伝えいただければ、折り返しご連絡いたします。

持ち物：軍手、水筒、タオル、あれば長靴

担当：横浜自然観察の森友の会「野草の調査と保護PJ」

●友の会 季節行事●(友の会会員向け)

●ハイド前の草刈り

日時：8/28(日) 9:10(センター前集合)

参加：友の会会員(中学生以上)

持ち物：汚れても良い服装、飲み物、帽子、軍手、長靴

担当：カワセミファンクラブ

●自然観察センター主催行事●

■夜の森でセミしらべ

どんなセミがどこにいるかな？

開催日：7/30(土)、8/6(土)

※各回同一内容

時間：18:00～20:00

対象：小学生とその保護者

申込：必要 詳細はHPやチラシ参照 無料

★ 注意 ★

新型コロナウイルス感染症対策の状況によっては、各行事の募集中止/再開、開催方法や開催日の変更などの可能性もあります。

友の会のホームページ

(<http://ynstomo.org/>)

ブログ (blog.livedoor.jp/yns_tomo/)
で随時情報を更新していきますので、そちらでご確認をお願いいたします。

●友の会 定例行事●(一般参加者募集)

●季節の森を歩こう(対面開催再開！)

～季節の変化や生き物のつながりを楽しみながら～

7/3(日)・8/7(日)

11:00～1時間程度

定員：先着10組(1端末が1組、1組何人でも可)

申込：メールで entry@ynstomo.org

担当：森の案内人・ハンミョウの会 毎月第1日曜

●みんなでバードウォッチング(野鳥観察)

～のんびり楽しむバードウォッチング～

事前申込制で活動しています！

7/10(日)・8/14(日)

9:30～12:00(雨天中止)

定員：25名(事前申込、応募多数の場合抽選)

対象：小学生以上(小学生は保護者同伴で)

申込：メールで entry@ynstomo.org

申込内容等、詳細はブログ「森のでできごと」参照

担当：鳥のくらし発見隊

毎月第2日曜

●友の会 定例行事●(友の会会員向け)

●定点カメラで動物調査

7/9(土)・8/13(土)

9:30～12:00

※雨天の場合、日程を変更する可能性あり。

センターに確認のこと。

対象：友の会会員向け(最大6名まで)

持ち物：汚れても良い白っぽい服、動きやすい靴で
タオル、水筒持参

集合：ゴロスケ館 5月～11月の第2土曜日

●参加者募集中止・未定の定例行事●

●畑と作物をつくろう

～生き物にあふれた畑を目指して～

2022年度上期は参加者募集中止です。

●森の絵本を楽しもう

～簡単ミニ絵本づくりと読み聞かせ～

2022年度の行事活動は未定です。

●自然と遊ぼう(園内の自然案内)

～ゲーム感覚で、遊びながら自然とふれあい～

2022年度は行事活動は中止です。

発行日 2022年6月22日

発行 横浜自然観察の森友の会

F A X 045-894-8892

E-mail: jimukyoku@ynstomo.org